

令和6年度 ESD活動支援センター 事業報告

令和7年2月28日

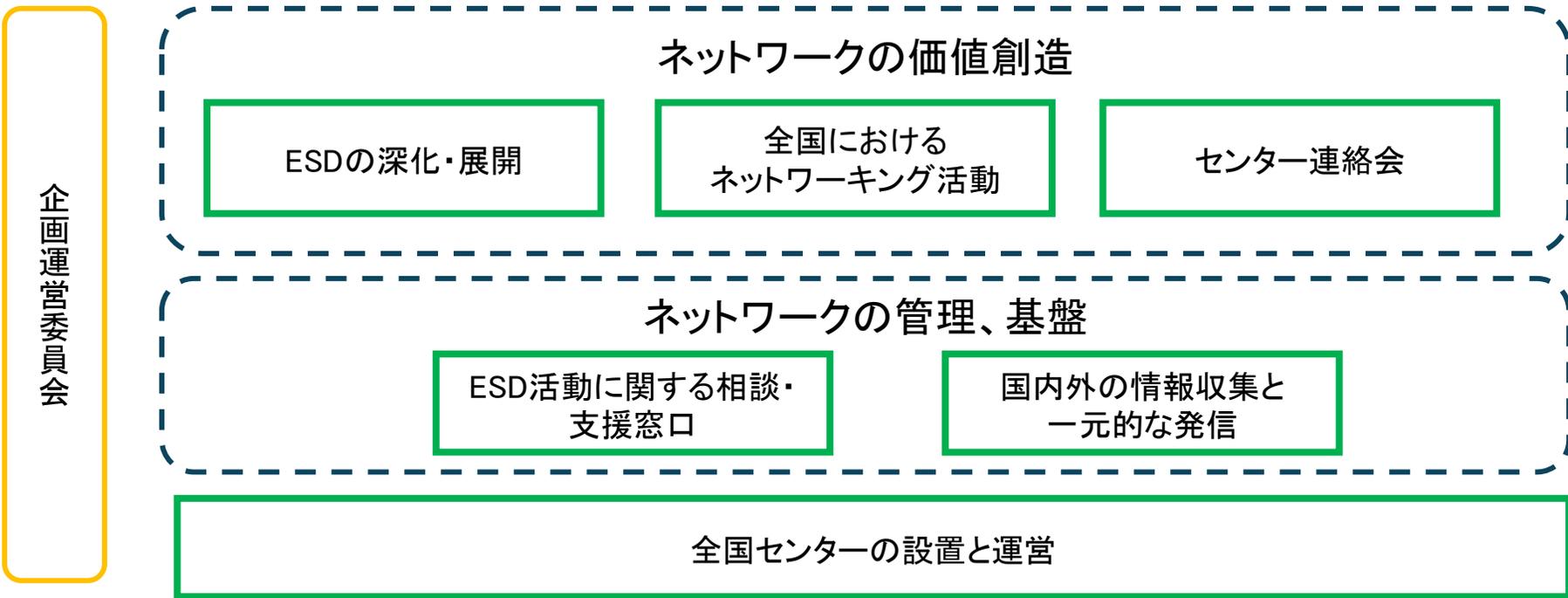


ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development

2024年度活動概要

2024年度は主に下記の業務を実施した。

- ① ESD活動支援企画運営委員会(年2回開催) * 第1回:6/27 第2回:2/28
- ② 全国協力団体意見交換会(年2回開催、うち1回はESD推進ネットワーク全国フォーラム) * 7/24
- ③ ESD推進ネットワーク全国フォーラム(年1回開催) * 12/1
- ④ ESD・気候変動教育の推進のための作業部会(年2回開催) * 第1回:7/25 第2回:2/25
- ⑤ ESD 活動支援センター(全国・地方)連絡会(年2回開催) * 第1回:6/13 第2回:1/17
- ⑥ ESD活動情報の収集・発信
- ⑦ ESD活動に関する相談・支援窓口(地域ESD拠点の登録・年次アンケート含)



2024年度活動スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----

企画運営委員会

委員会

委員会

全国団体
ミーティング

全国団体Mtg

全国団体Mtg

全国フォーラム

7月24日(水) 14:00-16:30

フォーラム
開催

作業部会

作業部会
(全国団体Mtg
セット)

ユネスコ・ウィークと連動
12月1日(日) 10:00~16:00

作業部会
(成果とりまとめ
の議論)

7月25日(木) 12:30-15:30

2月25日(火) 13:00-16:00

センター連携



連絡会①

各地方センターの活動情報を収集

連絡会②

6月14日(木) 13:00-16:30

1月17日(金) 13:00-16:30

拠点アンケート

前年度結果発表

送付・回収

情報発信、
相談対応

WEBサイト管理、情報収集と発信、拠点登録、後援名義等管理、パンフレットの配布等

2024年度各活動報告①

① ESD活動支援企画運営委員会(年2回開催)

ESD推進ネットワーク全体の活動の基本的方向を議論するとともに、全国センターの令和6年度における事業計画及び事業報告案、令和7年度の事業計画案等について、指導・助言等を受けることを目的に企画運営委員会を設置。

開催日程: 第1回 令和6年6月27日(木)10時～12時@GEOC

第2回 令和7年2月28日(金)10時30分～12時30分@GEOC

委員一覧

飯田貴也氏

NPO法人新宿環境活動ネット 代表理事

遠藤理紗氏

特定非営利活動法人「環境・持続社会」研究センター 事務局次長

及川幸彦氏

奈良教育大学 教育連携講座／ESD・SDGsセンター 准教授

柿野成美氏

法政大学大学院政策創造研究科 准教授

公益財団法人消費者教育支援センター 理事 首席主任研究員

近藤牧子氏

認定NPO法人開発教育協会 理事・事務局長補佐

佐藤真久氏

東京都市大学大学院環境情報学研究科・研究教授

白井信雄氏

武蔵野大学工学部 教授

高橋良光氏

新居浜市 教育長

原 理史 史

中部地方ESD活動支援センター

深津学治氏

グリーン購入ネットワーク 事務局長

藤本早恵子氏

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター教育協力部 主任

2024年度各活動報告②

② 全国協力団体意見交換会(年2回開催、うち1回はESD推進ネットワーク全国フォーラム)

全国規模でESDを推進する団体との連携を深めネットワークを構築することを目的に交流を軸にしたプログラムを開催。

●団体から計43名が参加。

開催日程: 令和6年7月24日(水)14時~16時30分@ビジョンセンター東京日本橋

プログラム:

- ①ESDに関する最新動向及び質疑応答(奈良教育大学 教育連携講座/ESD・SDGsセンター准教授 及川幸彦氏)
- ②ESD活動支援センターの紹介
- ③全国協力団体等から最新の取組紹介(3分程度/団体)
- ④ネットワーキング・名刺交換タイム

参加団体(合計43名が参加):

一般社団法人 環境パートナーシップ会議、特定非営利活動法人 気候ネットワーク、Climate Youth Japan、公益財団法人 五井平和財団、公益財団法人 国際文化フォーラム、国立研究開発法人 国立環境研究所、国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)、特定非営利活動法人 持続可能な開発のための教育推進会議(ESD-J)、公益財団法人 消費者教育支援センター、一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット、地球環境パートナーシッププラザ、特定非営利活動法人 日本エコツーリズムセンター、公益財団法人 日本環境協会、特定非営利活動法人 日本持続発展教育(ESD)推進フォーラム、公益財団法人 日本ユネスコ協会連盟、公益財団法人 ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)、北海道地方ESD活動支援センター、東北地方ESD活動支援センター、関東地方ESD活動支援センター、中部地方ESD活動支援センター、近畿地方ESD活動支援センター、中国地方ESD活動支援センター、四国地方ESD活動支援センター、九州地方ESD活動支援センター

2024年度各活動報告③

③ ESD推進ネットワーク全国フォーラム(年1回開催)

今年度はユネスコウィーク(11月25日(月)～12月1日(日))と連動して、12月1日に開催。テーマは「気候変動 × ○○ ～点から線、線から面へのつながりづくり～」。環境教育・ESD実践動画100選の認定書授与式と合同で開催。また、前日のユネスコスクール全国大会では分科会「持続可能なESDの取組のための外部支援の活用に向けて – ASPUnivNet × ESD活動支援センター × ESDコンソーシアム等による学校支援の構築 –」に登壇。

日時:2024年12月1日(日)10時～16時@国立オリンピック記念青少年総合センター国際交流棟 国際会議室

プログラム:

- ①環境教育・ESD実践動画100選認定書授与式
- ②基調報告(環境省及び文部科学省)
- ②ポスターセッション
- ③基調講演(NHKエンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー 堅達京子氏)
- ④パネルディスカッション

モデレーター:二ノ宮リムさち氏(立教大学環境学部設置準備室/大学院社会デザイン研究科教授)

パネリスト:堅達京子氏(NHKエンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー)

佐藤真久氏(東京都市大学大学院環境情報学研究科・研究教授)

高田研氏(地球温暖化防止全国ネット(JNCCA)理事長)

秦さやか氏(杉並区立西田小学校 主任教諭)

加藤弘人氏(青年環境NGO Climate Youth Japan会計統括/一橋大学経済学研究科 修士課程1年)

参加人数:会場参加者数134名 オンライン視聴申込数58名

*参考 2023年度:会場参加者数145名 オンライン視聴申込数52名

2024年度各活動報告④

④ ESD・気候変動教育の推進のための作業部会(年2回開催)

地方センターの行う学びあいプロジェクトを通じて、気候変動教育のノウハウを共有し、推進の方策を検討するための作業部会を2度開催。

開催日程: 第1回 令和6年7月25日(木)12時30分～15時30分@青山ブックセンター
第2回 令和7年2月25日(火)13時00分～16時00分@GEOC

⑤ ESD 活動支援センター(全国・地方)連絡会(年2回開催)

ESD活動支援センター(全国・地方)が相互に情報交換をすることにより事業における課題やノウハウを協議、共有することを目的としたESD活動支援センター(全国・地方)連絡会を開催。

開催日程: 第1回 令和6年6月13日(木)13時～16時30分@GEOC
第2回 令和7年1月17日(金)13時～16時30分@GEOC

⑥ ESD活動情報の収集・発信

⑦ ESD活動に関する相談・支援窓口(地域ESD拠点の登録・年次アンケート含)

ウェブサイト等を通じてESD活動情報を発信する他、拠点登録、後援名義等管理、パンフレットの配布等を実施。

2024年度各活動報告⑤

⑥ ESD活動情報の収集・発信

⑦ ESD活動に関する相談・支援窓口（地域ESD拠点の登録・年次アンケート含）

ウェブサイト等を通じてESD活動情報を発信する他、拠点登録、後援名義等管理、パンフレットの配布等を実施。

	2023年4月1日～2024年2月29日	2024年4月1日～12月31日
ウェブサイト更新数	577件	463件
相談件数	78件	126件
後援件数	45件	34件
地域ESD拠点数	187件	199件

参考:ESD for 2030 学びあいプロジェクト①

第2期ESD国内実施計画に位置付けられた「テーマ別の学びあいの仕組み」である「ESD for 2030学びあいプロジェクト」。各地方センターが気候変動を切り口としてテーマを設定、活動を展開しています。



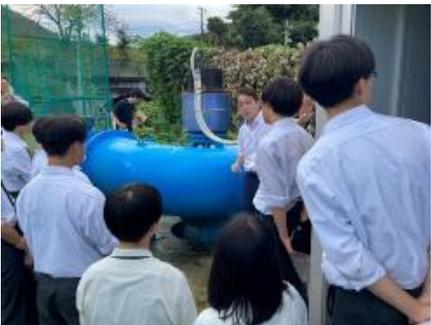
北海道センター: 札幌市円山動物園×気候変動教育プロジェクト

前年度の動物園におけるESDの可能性についての検討結果をもとに、展示動物を入り口とする生息地の変化と気候変動や私たちの生活との関わりなどを考える対話型のプログラムを試行的に複数回実施し、関係者・参加者から高い評価を得ました。今後は継続的な取組や他園館への展開へ向け、企業や団体との協働による実施体制の構築を目指します。



東北センター: 市民施設における気候変動教育

宮城県仙台市の市民センター(公民館)を対象に、市民施設での気候変動教育の可能性を探るプログラムを展開しました。気候変動を切り口とした市民講座の企画のコツについて関係者の学びを深め、実際の企画・講座実施を通じて、既存講座との関連性を感じ、気候変動教育への理解が深まりました。



関東センター: 気候変動じぶんごと化プロジェクト

気候変動による水害への対応策として、自立型発電に着目して2カ所の地域ESD拠点と連携しました。(一社)自然エネルギー推進機構とは、神奈川県立山北高校2年生を対象に、山が多い地域特性と小水力発電による避難所への給電を学びました。(一社)銀座環境会議とは、千葉県柏市内の障がい者通所施設の太陽光発電を題材に再生可能エネルギーへの理解を深めました。

参考:ESD for 2030 学びあいプロジェクト②

第2期ESD国内実施計画に位置付けられた「テーマ別の学びあいの仕組み」である「ESD for 2030学びあいプロジェクト」。各地方センターが気候変動を切り口としてテーマを設定、活動を展開しています。



中部センター:SDGsワークショップ「学び合いの場の作り方」

昨年度作成した「ESD学び合いの場づくりワークブック」を有効に活用するため、セミナーなどの「学び合いの場」を企画するワークショップを試行的に開催しました。学園祭のSDGsブースを企画する学生、デコ活の普及啓発を担当する関係者、市民教育の企画を考える自治体職員などを対象とし、試行結果を踏まえてワークショップパッケージを作成しています。



近畿センター:学校と地域の連携に必要なことは?

教員や教育委員会、自治体環境部局を対象に、気候変動を切り口とした学校と地域の連携事例について学び合い、来年度以降の活動計画案を作成しました。取組の事例紹介をきっかけに現場の状況を踏まえた意見交換では、学校と地域の両者にとってWin-Winの関係を構築することが重要といった具体的なポイントを抽出することができました。



中国センター:脱炭素ロードブックの継続・水平展開

昨年度に鳥取県北栄町で実施した脱炭素ロードブック制作プロジェクトの成果物(冊子)を活用した継続展開として、「ほくえい未来トーク2024」を共催して、脱炭素地域づくりの担い手育成や再エネ・省エネの推進に役立てました。また、これらのノウハウを中国地方に水平展開するために、島根県・岡山県・山口県の関係機関と意見交換を行いました。

参考:ESD for 2030 学びあいプロジェクト③

第2期ESD国内実施計画に位置付けられた「テーマ別の学びあいの仕組み」である「ESD for 2030学びあいプロジェクト」。各地方センターが気候変動を切り口としてテーマを設定、活動を展開しています。



四国センター: **四国ESDバーチャル大学**

地域イベントや 環境白書、ジオパークなどの様々な切り口からESDに触れる機会を提供し、意見交換を通して行動変容、社会変容につながるアイデアを共有することができました。多様な主体との連携によって、様々な分野の学びを気候変動教育と結びつけ、それぞれの特色を生かした気候変動教育、ESDプログラムづくりの素地が作られました。



九州センター: **気候変動教育推進に向けた環境学習施設ネットワーク形成**

持続可能な社会づくりにつながる基本的な学びの場である公設型の環境学習施設をネットワーク化することで、気候変動教育の推進を目指しました。施設職員による教材活用研修(@タカミヤ環境ミュージアム)や地域企業の巻き込み、専門家との連携形成に向けた意見交換(@かごしま環境未来館)を通して、ウェルビーイングにつながる気候変動教育に向けた相互参照が進展しました。